

康な体を育むことについて申し上げます。

1点目は、健康の維持・体力の向上に関する指導の重点化です。新型コロナウイルス感染症の影響等による体力の低下を改善するために運動機会を保障するとともに、体育の指導や生活指導を通して、心身共に健康な生活を送るための資質・能力を育成してまいります。

2点目は、情報モラル教育の充実です。タブレット端末を活用した学習を通して、個人情報の保護、人権侵害、著作権等に対する対応、危険回避やネットワーク上のルールやマナーに対する理解を深め、行動する態度を育成してまいります。また、家庭のルールづくりを推進し、生活



リズムの自己管理についても継続的な指導や支援を進めてまいります。

3点目は、食育の充実です。栄養や食事についての正しい知識が身につくよう、給食指導や栄養教諭による学習等、食に関する指導を実施するとともに、地元食材を使った『ふるさと給食』を通して、食生活を支える環境についての理解を深めてまいります。また、児童生徒個々のアレルギー情報を保護者および学校と共有しながら、安全・安心な給食の提供を実施してまいります。

【ふるさと・キャリア教育の推進】

地域への理解と愛情を深めるとともに、自分の将来について主体的に

考え、積極的に地域とかわらうとする児童生徒を育むことについて申し上げます。

1点目は、ふるさとの自然、産業、文化、人に触れる学びや体験の継続です。タイムカプセルの開封事業等、ふるさとの歴史に触れる機会を設け、ふるさとを見つめ、再発見する活動を通して、子どもの多様なものの見方・考え方・行い方を育み、ふるさと厚岸への愛着と学ぶ意欲を育んでまいります。

2点目は、キャリア教育の充実です。学習や活動の内容を記録するキャリアパスポートを活用し、自己の成長を振り返りながら、学ぶことと自己の将来とのつながりを見通し、



主体的に進路選択を行う資質・能力を育んでまいります。

【学びの保障】

児童生徒一人一人が、等しく生き生きと学ぶことができる支援および環境整備について申し上げます。

1点目は、新型コロナウイルス感染症対策です。新型コロナウイルス感染症への対応が続く中、安全、安心な教育を推進することが重要です。きめ細かな指導・助言に努め、保健衛生用品の整備を図り、継続した学びを保障できるよう努めてまいります。

2点目は、ICTを活用した教育支援です。臨時休業や長期にわたる欠席など、子どもが学校で授業を受けられない場合においても、タブレット端末を活用し、学びが継続する環境整備と体制づくりを行ってまいります。

3点目は、職員研修の充実です。教員のキャリアステージに即した実践的かつ効果的な研修を企画・推進できるよう、町立教育研究所をはじめとする既存組織や資料を活用しながら、教員の資質・能力の向上を図ってまいります。

4点目は、特別支援教育の充実です。特別な支援を要する子どもに対し、よりよい教育支援環境を整備するために、道費負担職員の基準配置